



しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

明けましておめでとうございます

何となく 今年はいい事あるごとし
元日の朝 晴れて風なし

清々しい新年の歌ですね。大雪の地方もあったようですが、長崎の元日の空は晴れ渡っていました。まさにこの歌の心境でした。

これは石川啄木の歌です。歌は力強いのですが、この前年、啄木は職を失い、家族は病気、



生まれたばかりの我が子を亡くすという境遇にあったといいます。それでも「新しい年明け」には、明るい希望を感じさせる力があることを教えてください。

コロナ禍も3年目に入り、新たな脅威も出てきています。子供たちを取り巻く現代社会も不安定で不穏です。けれど、だからこそ、新しい年には明るい希望をもって「今年はいい事あるごとし」と歌いたいものです。

一番の希望は目の前にあります。それは子供たちの笑顔です。子供たちそのものが「未来の希望」であると感じています。3学期もしっかりと希望の種を育ててまいります。

今年もどうぞよろしく申し上げます。

本物の足跡を残そう！

3学期の山里小のテーマを「本物の足跡を残そう」と定め、始業式で子供たちに伝えました。実は昨年度と同じテーマです。3学期はいつもこのテーマでいこうと決めているのです。1年間の集大成を残してほしいと願うからです。

具体的には次の3つの足跡を意識してほしいと考えて、次のことを伝えました。

【学びの足跡】

- 1～2学期でたくさんのことを学んだ。それらをしっかりと「本物の力」にしよう。
- 「分かったつもり」「知っているつもり」ではダメ。本物の力というからには「よく分かっている」「ちゃんと知っている」「自分の言葉で説明できる」、そして「いつでもできる」「正しくできる」を目指すこと。
- 難しそうに思えるかもしれない。先生方の言うことを素直に聞いていけば、絶対に大丈夫。力が付く。信じてついていこう。

【努力の足跡】

- 学びの足跡は、学年によって学習することが決まっているが、努力の足跡は、一人一人違っていい。しっかりと自分なりに努力する何かを決めることが大事。
- 自分なりの目標をもって1月のゴール、2月のゴール、そして3月の1年間のゴールを目指して、努力を積み重ねること。

【友情の足跡】

- 学校が楽しいのは「友達」がいるから。
- 今の学級の仲間とはこの3学期でお別れ。しっかりと友情の絆をつくって。
- 人権集会の歌の歌詞に「友達になるために、人は出会うんだよ。誰かを傷付けても、幸せにはならない」とある。想像力を働かせて、優しさや思いやりの心を形にしよう。